

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	088 情報通信ネットワーク運営業務									
予算科目	01-020108-15 情報通信ネットワークシステム運用に					担当部課	政策イノベーション部情報政策課			
市長公約						係名	情報システム係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市情報セキュリティポリシー					SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市職員
目的	市民サービス及び庁内業務効率の向上を図る。
概要 (取組内容)	市インターネットサービス及び庁内ネットワークの基盤となるネットワーク機器の管理・メンテナンスを行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	130,114	129,129	126,287	161,188	161,188	
	決算額	(千円)	102,034	133,348	124,571	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	102,034	133,348	124,571	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,055	10,603	15,073	14,420	14,420	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.50	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	250.00	250.00	250.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	年間のネットワーク停止時間 (分以内)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	280.0	280.0	280.0	280.0	280.0	280.0
	実績	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	通常のシステム運用時間帯（祝日を除く、8：30～22：00）のネットワーク停止時間を0.1%未満に抑える。 （計画的に行う停止時間を除く）※344日×810分×0.1%≒280分					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和５年度の次期庁内ネットワーク構成検討の結果を元に、調達計画を確定させ、契約を締結した。
成果		4月～12月 次期庁内ネットワーク基盤整備の調達計画及び仕様書の策定 12月～３月 次期庁内ネットワーク基盤整備プロポーザル及び契約の締結 9月 入退室管理システム機器及び出先施設用ネットワーク機器の更改 3月 消防庁舎及びコミュニティ棟のネットワーク機器の更改
課題	業務	次期庁内ネットワーク基盤整備については大規模な改修であることから、移行に伴う業務への影響を最小限にするための手法等の整理が必要である。
	組織、予算等	次期庁内ネットワーク基盤整備に係る歳出の増加が見込まれる。
改善目標		次期庁内ネットワーク基盤整備の受託事業者と綿密に打合せを行い、業務影響を最小限とするような移行計画を立てる。また、移行に伴い不要となる機器を整理し歳出削減に努める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	次期庁内ネットワーク基盤整備により、ネットワーク回線費用が増加するため。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	089 庁内情報化事業(イントラとパソコンの整備)									
予算科目	01-020109-11 電子情報システムの管理に要する経費					担当部課	政策イノベーション部情報政策課			
市長公約						係名	情報システム係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務 (任意)			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市情報セキュリティポリシー					SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市職員
目的	庁内イントラネットとパソコンの整備により事務の効率化を図る。
概要 (取組内容)	職員が使用するパーソナルコンピュータ及びグループウェア等の運用・管理を行い、円滑な事務の執行・事務の効率化を図る。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	241, 095	306, 832	297, 255	1, 141, 785	1, 141, 785	
	決算額	(千円)	232, 402	301, 390	297, 167	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	232, 402	291, 424	297, 167	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	594	0	0	0
		その他	(千円)	0	9, 372	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7, 422	10, 967	15, 073	14, 420	14, 420	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1. 00	1. 50	2. 00	2. 00	2. 00
		正職員時間外勤務	(時間)	250. 00	250. 00	250. 00	250. 00	250. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	LGWAN接続系端末台数 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,570.0	1,654.0	1,672.0	2,027.0	2,108.0	2,252.0
	指標の概要	庁舎及び出先施設に導入しているLGWAN接続系端末台数 ※当該指標は参考としての指標であるため、目標値を0としている。					

2	指標名	情報セキュリティ研修受講者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	0.0
	実績	376.0	72.0	62.0	122.0	100.0	0.0
	指標の概要	研修の受講者数は年度ごとの対象者数にばらつきがあるため、令和6年度から本指標を廃止する。					
3	指標名	情報セキュリティ研修実施回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	指標の概要	研修の実施回数は、情報セキュリティ対策に要した時間の結果を評価するための指標となるため、令和6年度から本指標を追加する。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		・各課等の所属長向けに、情報セキュリティポリシーの留意点の周知のため情報責任者研修を実施した。 ・令和5年度の次期庁内ネットワーク構成検討の結果を元に、パソコンの更改計画を確定させ、契約を締結した。
成果		4月、6月、10月 情報セキュリティに係る新任職員研修(2回)、情報責任者研修(1回)の実施 4月 LGWAN接続系のパソコン210台の調達の実施 11月 庁内グループウェアの新バージョン移行 4月～3月 次期庁内ネットワーク基盤整備の調達計画及び仕様書の策定、契約の締結
課題	業務	次期庁内ネットワーク基盤整備については大規模な改修であることから、移行に伴う業務への影響を最小限にするための手法等の整理が必要である。
	組織、予算等	次期庁内ネットワーク基盤整備に係る歳出増加が見込まれる。
改善目標		次期庁内ネットワーク基盤整備の受託事業者と綿密に打合せを行い、業務影響を最小限とするような移行計画を立てる。また、移行に伴い不要となる機器を整理し歳出削減に努める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	次期庁内ネットワーク基盤整備により、端末費用・ソフトウェア費用等が増加するため。	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	090 基幹電算業務運営事業									
予算科目	01-020110-11 基幹電算業務の運営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部情報政策課			
市長公約						係名	業務改善推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市情報セキュリティポリシー 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律					SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市職員									
目的	庁舎及び窓口センターにおける市民サービスの事務効率化を図り、サービスを向上させるとともに安定したシステムの運用を行う。									
概要 (取組内容)	市の基幹電算業務に使用する機器・システム等について、法改正への対応やシステムのカスタマイズ等により、適正なシステムの提供と業務の効率化を図るとともに、トラブルによるシステムダウンの回数を減らしシステムの安定した運用を図る。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	379,654	397,205	399,656	544,731	544,731	
	決算額	(千円)	370,915	392,924	401,579	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	360,025	374,847	369,833	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	10,890	18,005	31,674	0	0
		その他	(千円)	0	72	72	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,422	14,420	15,197	14,420	14,420	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	250.00	300.00	250.00	250.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	トラブルによるシステムの停止回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		基幹業務システムの標準準拠システム移行に向け、関係部署で構成するワーキンググループで仕様の確認や運用見直し等の検討を行った。
成果		4月～12月 庁内ネットワーク基盤整備に向けたシステム構成等の検討 5月～2月 基幹系システム標準化に向けたワーキンググループ運営 (随時) プリンタ用トナーの調達 (随時) 基幹系システムのガバメントクラウド移行に向けた検討及び調整
課題	業務	今後のシステム標準化及びガバメントクラウド移行により、税や福祉など市民生活に関係する事務に影響があるため、ワーキンググループ活動など関係部署と連携を図りながら円滑に切り替えを行う必要がある。また、令和8年度の庁内ネットワーク基盤更改に向けて端末構築などの検討・調整を進める。
	組織、予算等	専門性が高い事業であるため、人材育成が必要である。 ガバメントクラウド移行にあたりパブリッククラウドを利用する際、歳出の増加が見込まれる
改善目標		安全性向上及び業務改善のための端末環境及びその運用を検討し、移行に向けた準備を進める。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	令和7年度に標準準拠システムへ移行するとともに、国が提供する基盤であるガバメントクラウド上に構築し運用を開始するため。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	088 証拠に基づく政策立案（E B P M）の推進									
予算科目	01-020108-21					統計・データ利活用の推進に要する経		担当部課	政策イノベーション部情報政策課	
市長公約									係名	
戦略プラン								新規・継続	継続	
								事業分類	自治事務（任意）	
								事業体制	職員のみ	
個別計画								事業期間	毎年度	
根拠法令等								SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市職員									
目的	限られた資源の効果的・効率的な活用及び行政への信頼性向上のため、事例や経験ではなく証拠に基づく政策立案・事業展開を進める「E B P M」を推進する。									
概要 (取組内容)	・各課からの相談に応じたナッジ活用支援、好事例の庁内への情報提供 ・他自治体の情報収集や筑波大学との連携通じた、知識の習得及び市の事業への導入検討 ・「一般社団法人Data for Social Transformation（D S T）」の自治体協議会への参加を通じた企業や研究機関、他自治体との連携									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	87	92	107	45	45
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2, 798	2, 788	2, 211	1, 455	1, 455
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0. 40	0. 40	0. 30	0. 20
		正職員時間外勤務	(時間)	30. 00	10. 00	17. 00	30. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
	実績	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
	指標の概要					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		データ利活用研修Ⅰ（主事・主任級）において、E B P Mの実現に必要な政策効果の検証に関する内容を追加した。
成果		・各課等からのナッジ相談を受け付け、アドバイスや効果検証への協力を実施した。 ・データ利活用研修Ⅰ参加職員のE B P Mに関するリテラシーが向上した。 ・D S Tにおける研究テーマ検討や研究結果の報告等の会議を通じて、E B P Mの実現に向けて見識を深めることができた。
課題	業務	E B P Mの推進担当者における必要な技術や知識の習得
	組織、予算等	特になし。
改善目標		D S Tの取組みへの参画や大学との連携を通して、E B P Mの推進担当者における必要な技術や知識を習得する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	098 業務改善推進事業									
予算科目	01-020108-22 業務改善推進に要する経費					担当部課	政策イノベーション部情報政策課			
市長公約	04					係名	業務改善推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針、つくば市職員ワークライフバランス推進プラン					事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	08働きがいも経済成長も			

事業の概要

対象	職員									
目的	ICTを活用して各部署の業務改善を行うことで、職員のワークライフバランスを実現するとともに、政策立案や市民対応のための時間を生み出し、よりよい行政サービスを市民へ提供する。									
概要 (取組内容)	AI・ロボティクスをはじめとするICTを活用し、自動化による業務効率化を推進するとともに、自治体に役立つ先進的なAI等の技術に着目し、導入について積極的に検討し、さらなる業務効率化や行政サービスの充実を推進していく。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	0	17,227	40,751	29,757	29,757	
	決算額	(千円)	8,238	10,245	20,753	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,238	6,505	18,344	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	3,000	3,740	2,409	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,711	6,997	7,599	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	37.00	37.00	150.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	業務自動化等による導入前の業務時間に対する削減時間数 (時間)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3,200.0	3,700.0	4,200.0	4,600.0	5,000.0
	実績	0.0	3,465.0	14,959.0	5,985.0	7,687.0	10,819.0
	指標の概要	(ロードマップNo.4)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		業務フロー可視化ツールを導入するとともに、その活用にあたり業務フロー見直しに関する研修やツールを活用した業務改善の支援を行った。
成果		RPA/AI-OCR導入部署は35部署、RPA講習は4部署5名に実施し、AI議事録の実施件数は670件超、その他各課の業務効率化に対する助言等を行った。また、業務可視化研修に参加した42部署のうち8部署にはヒアリング等を通じて業務見直しのポイントの精査を行った。
課題	業務	業務自動化ツールを利用していない潜在的なユーザの掘り起こしをする必要がある。
	組織、予算等	現状の人員では、ICT化による庁内の業務改善を進めることが限度であり、業務手順の抜本的な見直しや最適化を主体的に進めるためには新たな推進体制が必要である。
改善目標		業務自動化ツールのさらなる活用を推進するため、業務可視化ツールの活用や個別支援を通じて各部署の業務フローを分析し、ツールの対象事務を増やしていく。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	今後、一人当たりの業務量が拡大して業務が立ち行かなくなる事態を防ぐために、可能な業務は自動化し効率化を図ることで、職員が真に必要な業務に注力できる環境整備が必要である。	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	008 保有データの活用環境整備									
予算科目	01-020108-21 統計・データ利活用の推進に要する経					担当部課 係名	政策イノベーション部情報政策課			
市長公約										
戦略プラン	IV-3	2	1	データ利活用研修の実施、オープンデータ		新規・継続	継続			
	IV-3	2	2	保有データを庁内活用できる環境の整備		事業分類	自治事務（任意）			
	IV-3	2	4	データを活用した課題解決の場の提供		事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針					事業期間	毎年度			
	官民データ活用推進基本法					SDGs	16平和と公正をすべての人に			
根拠法令等										

事業の概要

対象	市職員、市民（市内に在住、在勤、在学する者を含む）、民間企業等									
目的	データを活用できる環境整備や人材育成を通し、業務の効率化・高度化を実現する。また、市民や民間企業等におけるオープンデータの利活用を促進する。									
概要 （取組内容）	・ 日常業務や政策検討において、データを活用できる人材を育成するため、職層に応じたデータ利活用研修を実施する。 ・ 公開可能なデータについて、利用しやすい（機械可読性のある）形式で積極的にオープンデータとして公開する。 ・ 庁内各課等で保有するデータの可視化・集計・分析を支援する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,082	4,082	7,097	149,967	36,591	
	決算額	(千円)	3,943	3,974	6,966	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,943	3,974	6,966	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,994	6,966	6,630	16,128	16,128	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.90	2.30	2.30
		正職員時間外勤務	(時間)	75.00	24.00	51.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	利用しやすいオープンデータ公開件数（累計）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	60.0	90.0	110.0	180.0	200.0
	実績	83.0	145.0	160.0	161.0	192.0	208.0
	指標の概要	(IV-3-②)データで市民を豊かにするまちの推進) PDFを除くオープンデータの公開件数（累計）					

2	指標名	データ利活用研修受講者数（累計）（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	150.0	270.0	390.0	510.0	630.0	750.0
	実績	191.0	357.0	493.0	618.0	731.0	883.0
	指標の概要	(IV-3-②データで市民を豊かにするまちの推進) 人事課の職層研修（データ利活用研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）受講者数（累計）					
3	指標名	（人）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	（人）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	（人）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		各課等から相談のあった、住民基本台帳、人口推計、アンケートなど各種データに関する相談に対し、可視化・集計・分析を支援した。
成果		・職層別データ利活用研修及びデータ管理・分析セミナーにより、職員のデータリテラシーが向上した。 ・基幹業務データの統計データとしての庁内活用に向けて、共同利用型庁内データ利活用基盤構築の取組を総務省フロントヤード改革モデルプロジェクト（国庫委託金：10/10）に浜松市と共同提案し採択された。
課題	業務	基幹業務データの統計データとしての庁内活用の推進
	組織、予算等	特になし。
改善目標		基幹業務データの統計データとしての庁内活用に向けて、可視化・集計・分析可能な環境を構築する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	091 つくばデジタル・ガバメント推進体制の活用									
予算科目	01-020108-14 デジタル・ガバメント推進に要する経					担当部課	政策イノベーション部情報政策課			
市長公約	1		4				係名	企画推進係		
戦略プラン	IV-3	2	3	つくば市デジタル・ガバメント推進体制を			新規・継続	継続		
	IV-3	3	1	マイナンバーカード普及促進のための全庁			事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針					事業期間	毎年度			
根拠法令等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、官民データ活用推進基本法、デジタル社会の実現に向けた重点計画など					SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市職員									
目的	官民データ活用推進基本法及びデジタル社会の実現に向けた重点計画に基づき、本市のデジタル・ガバメントの実現に向けて各施策を推進する。									
概要 (取組内容)	つくば市デジタル・ガバメント推進方針における各施策を総合的かつ全庁横断的に推進する。 また、番号制度推進のための庁内の総合調整を行うことで、番号法の改正及び番号制度の変更に即時かつ的確に対応する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	11,236	7,590	9,921	9,944	9,944	
	決算額	(千円)	10,780	8,043	10,055	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,780	7,043	10,055	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	1,000	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,827	10,967	6,630	17,510	17,510	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	0.90	2.50	2.50
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	250.00	51.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	つくば市デジタル・ガバメント推進本部各専門WG開催総数（回）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	0.0	33.0	26.0	37.0	31.0	38.0
	指標の概要	(Ⅳ-3-②データで市民を豊かにするまちの推進) (Ⅳ-3-③書かない・待たない・行かないデジタル窓口の推進) つくば市デジタル・ガバメント推進本部設置要綱に基づくWG ※令和元年度は別指標だったため0					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		公共施設予約システムWGにおいて、令和８年度のシステム更改に向けて、各ベンダーに対して情報提供依頼（R F I）を実施し、要求仕様に対する対応状況や費用感を確認した。
成果		行政手続オンライン化WGにおいて、庁内の手続棚卸調査を行い、オンライン化状況を確認の上、各担当課からのオンライン化相談に対し、アドバイスやフォーム作成支援を実施した。条例規則WGにおいて、システム標準化に伴う庁内連携条例・規則の改正準備を行った。
課題	業務	公共施設予約システムWGにおいて、令和８年度のシステム更改に向けて、予算化や調達事務、データ移行、操作者研修等のスケジュールを立て、計画的に実施する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		デジタル・ガバメント推進方針に掲げる社会像達成のために、各専門WGを活用した各情報施策の推進やアクションプランの拡充を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	087 情報化推進事業										
予算科目	01-020108-14 デジタル・ガバメント推進に要する経					担当部課	政策イノベーション部情報政策課				
市長公約	4						係名	企画推進係			
戦略プラン	IV-3	3	2	行政手続きの電子化に向けた取組			新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市デジタル・ガバメント推進方針					事業期間	毎年度				
根拠法令等						SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう				
							16平和と公正をすべての人に				
							17パートナーシップで目標を達成しよう				

事業の概要

対象	市職員
目的	市役所の業務効率化や価値の高い住民サービスの提供を図る。
概要 (取組内容)	電子申請サービス、茨城県域統合型GIS、チャットツール、生成AI等の活用を推進し、庁内各課の課題解決を図る。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	7,575	14,721	33,748	30,396	30,396	
	決算額	(千円)	7,638	12,047	26,931	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,680	11,609	26,715	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,667	0	0	0	0
		その他	(千円)	291	438	216	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,193	11,330	6,630	7,150	7,150	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	0.90	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	400.00	400.00	51.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	茨城県統合型GISへの庁内からのログイン件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5,500.0	6,000.0	6,500.0	7,000.0	7,500.0	8,000.0
	実績	8,271.0	9,735.0	10,516.0	11,393.0	15,429.0	19,249.0
	指標の概要						

2	指標名	電子申請・届出システムの利用件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	15,000.0	20,000.0	25,000.0	30,000.0	35,000.0	40,000.0
	実績	29,601.0	66,024.0	97,378.0	89,362.0	97,345.0	116,153.0
	指標の概要						
3	指標名	情報セキュリティ研修受講者数 ()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	300.0	300.0	300.0	0.0	0.0	0.0
	実績	376.0	72.0	62.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(089庁内情報化事業（イントラとパソコンの整備）に令和4年度から移管） ※移管したため、令和4年度以降の指標は0としている。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		電子申請サービスについては、手続のオンライン化の推進に向けたフォームの作成のための操作セミナーを開催し、電子申請サービスの利用促進及び手続のオンライン化の推進を図った。生成AIについては、人事研修や操作セミナーを開催し、リテラシーの向上及び活用推進を図った。
成果		電子申請サービスのオプションである汎用予約サービスを導入し、相談予約等での利用を開始している。チャットツールについては、全正職員を対象にアカウントを配布し、職員間の円滑なコミュニケーションの強化を図った。生成AIの活用については、チャットツール内で活用していたものに代えて、全正職員が利用可能な文章生成AIサービスを導入し、業務の効率化を図った。
課題	業務	今後の人口減少社会を見据えて、業務の効率化が急務であるため、生成AIの活用推進を強化する必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		今後も、各システム及びツールの活用を推進するため、職員への周知を継続し、業務の中で使いやすい環境を整えていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-